

「人間は怖いから近づいてはいけない」と親から教えてもらわない子グマが世代を重ねています。クマの気配にいち早く気づいてトラアルを避ける努力が、人間の側にも必要になってきました。



クマのフーサイン

クマのフーサイン

○野生動物がそこにいたことを示す自然の中の証拠(しやうこ)をフーサインと呼びます。クマにも、代表的なサインがあります。

○足あと 5本指の大きな足跡は、クマのものと思われれます。爪跡がはつきり残ります。人間と違い、親指が特に大きいことはありません。

○うんち 色や形はその時の食べ物によりますが、体の大きさに見合う大きなうんちがあったら、クマが残したものと思われれます。

○クマはぎ 主に春から夏にかけてクマが樹の皮をはぐことがあり、これは「クマはぎ」と呼ばれます。特に夏場、お気に入りの食べ物がなくなるせいか、樹皮の下の方から部分部分を前歯で削り取り、食べています。後には、上から下へ、歯の跡が筋になって残っています。

○クマだな クマは木登り上手ですが、細い枝先まで行けません。実りの秋、適当な所で登って腰をすえ、手近な枝を折って引き寄せ、木の实を食べます。残った枝はその場に積み重ねられますが、それが「クマだな」と呼ばれます。枝を樹の下に落とすこともあります。

クマの食事は、柔らかい草の葉や茎、木の实など、植物食が主体です。子グマ連れのお母さんグマは気が立ってこれのほかに注意が必要ですが、クマは、クマどうしや他の獣との無用な争いを好まない温厚な性格を本来は持っています。しかし近年、山の中や人里などで問題を起こすことも増えていて、それらにどう向き合うか、知恵が求められています。

クマについて

百名山自然ガイド

(楽しい山歩きのために)

クマの樹皮はぎ(クマはぎ)



(撮影・HN)



(撮影・HN)

上から下にはがれた樹皮
バナナの皮むき状態です。

下から上にはがれた樹皮
すだれ状です。



皮をはがされた樹の幹
前歯で幹の表面を削りつけた
跡が、筋になっています。
削られた幹にはやがてキノコなど
が取りついてその部分を腐らせ、
長い年月の後、そこが空洞になって
子孫が冬眠するのかもしれない。

クマの樹皮はぎは、初めて見てもすぐに分かるクマのサインです。はがされた樹皮の多くは、バナナの皮をむいたときのように樹の根元で幹につながるっているか、幹の上方でつながって、たれ下がっています。

プしー持参が必須という世の中になってしまうのかもしれない。

目を放さずに静かに後ろに下がるのがよいとされます。

も防ぐために両手で首をガードすることが勧められています。

間がかなう相手ではありません。

クマに出会ってしまったときは



同じアトリスの
別のQRコードです

○食べ物や飲み物、その匂いがついたゴミなどを放置するのは止めましょう。

人間のそばにはごちそうがあるとクマに教えることになってしまいます。

○クマを遠方に見かけたとき、もつとよく見ようとか写真を撮ろうとして近づくのを止めましょう。人が近くにいると動じないクマが増え、人里や市街に出て人身被害や人家の食料、畑の作物などを食べ流らすことにつながります。

○とりわけ、ドライヌ中にクマに会ったときなど。こちらは安全だからといってクマに食べ物を与えるのは厳禁です。その場はよくても、人間の食べ物の味を覚え、将来的に人を襲うクマが出現する芽を育てることになってしまいます。

2025年10月作成：◎百名山の自然ガイドを作る会

6

○クマを遠ざけるのはクマ鈴が役立ちます。ただ、人間を怖がらない

うか、帰りに同じルートをもたまたま通るのかどうかなど、考えどころです。

○クマの新鮮なフィードサインを見つけたときは、予定を変えて引き返すことも考える必要があるかもしれません。行き交う人がまばらかど

呼ばれます。クマとは違い、樹の根元に皮の断片を散乱させます。

○シカも、その角(つの)や口で樹の皮をはぐことがあり、「シカはぎ」と
 られてしまうのは樹にとって痛手で、林業では大きな困り事です。

○クマはぎは、皮がはがれやすいスギ、ヒノキ、カラマツなどに見られることが多いのですが、皮の下の水分や養分の通り道の部分を食べ

皮をはぐだけの場合もあるのかもしれない。

○クマは、樹皮の内側の樹の幹の柔らかな部分を削って食べる。中にいる虫をさがすとか、ちよつとした遊びとして、目的のものが、

クマの樹皮はぎぎ(クマはぎぎ)

くまさんに出会った

「森の熊さん」の日本語歌詞ではメルヘンあふれるお話が展開されますが、ここでは、比較的古い英語歌詩の一例に訳をつけてみました(×)。この小冊子のネット版には、「日本語訳についてのメモ」を付け加えました。

ある日 森のまち 熊さんが聞いてきた
ある日 もりのみち 熊さんが聞いてきた

で逃げる持たないのどおして逃げないの
で逃げる持たないのどおして逃げないの

それなら走って逃げようでも熊さん追ってくる
それなら走って逃げようでも熊さん追ってくる

前(まへ)に樹(き)が見える 大きな樹 助け(たすけ)あた

前(まへ)に樹(き)が見える 大(おほい)な樹(き)だすか(たすか)あた

校まではテンノウイトを信じ跳ばないと
校まではテンノウイト運を信じ跳ばないと
ため、

さあ跳んだ
思いきりでもだめだ
つかぬない
さあ跳んに
思いきりでも
つかぬない

それでも 良かった 落ちる途中 枝さんだ
それこそ 良かった 落ちる途中 枝さんだ

覚えてこ 近づくな 駆けつけ 好き 熊さんに 覚えてこ 近づく な 駆けつけ 好き 熊さんに

二おれで おしまい うたうの 終つあり これにしまあ 歌のおおわあり

習性を考えると、クマに背を見せて走るのは良くないとされます。歌詞にはそれを伝えるねらいがあるのかもしれませんが、樹の上に逃げるのも、クマが登ってきたら大きなリスクになります。